

令和6年度

昼間学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、様々な活動を通して、児童の思考力・判断力・表現力を伸ばす授業の実践
- ②児童が、自らの目標をもち、主体的に学びに向かう学習習慣の確立

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長

【各校の取組状況の把握について】

中間期と年度末に担任が取組み状況について報告し、学力向上検討委員会において検討し、見直しを図る。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題に対し、やり遂げようとする意欲が高まり、基礎基本の学習に進んで取り組んでいる。 ●漢字の読み書き、語句の意味や使い方の理解、計算など、基礎基本の定着が十分でない児童がおり、個人差がある。	自分の学習の到達度に応じた課題に積極的に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を着実に身に付けることができる。	①プリント学習や GIGA 端末を使ったドリル学習等で基礎・基本の定着を図り、単元テスト到達率80%以上を目指す。 ②ノートや GIGA 端末等を活用し、自分の学習を振り返る時間を設定することで、次時の学習への意欲を高める。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に対する自分の考えを伝えようとする児童が増えている。 ●文章や図などから必要な情報を読み取り、整理・分析する力が十分に身につけていない。 ●目的や意図に応じて文章を書くことが苦手な児童が多い。	情報を正しく読み取り、それをもとに、自分の考えを深め、筋道を立てて伝えることができる。 文章の構成を意識し、自分の考えを目的や意図に応じて書き、まとめることができる。	①学習ツール(ロイロノート)をもとに思考ツールを中心とした学習を進め、ペア学習 やグループ学習等、協働的に学ぶ場面を取り入れ、情報活用能力を高める。 ②文章を読む機会を設け、文章の構成や主述関係や指示語などに着目して文章を読み取る力を伸ばし、書く力につなげる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○宿題や決められた課題には、進んで取り組むことができている。 ●自分に合った学び方に気づき、学びを進めていくことに課題がある。	自分自身で目標を設定し、目標に応じた方法や内容を選択し、取り組むことができる。	①自主学習ノートや学習方法を紹介し、児童が学習内容を選択できるようにする。 ②「家庭学習チェック表」を継続して活用し、自分でめあてを決めて取り組めるようにする。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

